

# 令和7年度 京都市ひきこもり支援事業補助金事業実績

## スタートアップ部門

### 万華鏡地域交流会事業

(一般社団法人 ムーンライト)

実施日

令和7年11月15日、令和8年2月21日

会場

京都経済センター4階(下京区)

事業実績

ひきこもりの若者が万華鏡制作を通じた癒やしを得て、地域住民等と交流することを目的に交流会を2回開催した。同じ作業を通して、初対面でも自然な会話が生まれ、参加者全員が作品を完成させて親睦を深めることができた。

また、第1回交流会終了後には、ひきこもり当事者2名へオープンカウンセリングを実施し、将来の不安や悩みを共有した。参加者からは、「自分だけではなかったと肩の力が抜けて楽になった」等の声をいただき、地域における支援の広がりや円滑な交流を促進する貴重な機会となった。



## ステップアップ学習会

(OCD school)

実施日

令和7年5月9日～令和8年3月31日  
毎週木曜日18時～20時

会場

OCDschool(中京区)



事業実績

小学校から高校生までの不登校児童・生徒を対象として、毎週学習支援活動を実施した。5～8名の子どもが継続して参加があった。本事業により、子どもが安心して学習する習慣の定着を図るとともに、学校への成果物提出などを通じて学校とのつながりを深めることができた。

また、保護者の悩み相談を受けることで、親子関係の改善にもつながる成果を得ることができた。



## スタートアップ部門

### ArtCamp KYOTO (アートキャンプ京都) (特定非営利活動法人 若者と家族のライフプランを考える会)

実施日

令和7年10月13日

会場

カトリック高野教会(左京区)

事業実績

一般参加型アート・イベント「アート・キャンプ 京都」を開催し、25名の方が参加した。子どもから高齢者までの参加者が大きな白布を囲み、「曼殊沙華」などをテーマに、共同で絵を描く作業を通じて、創造的な時間を共有した。音楽を流し、リラックスした環境で共同作業がすすむにつれ、参加者の緊張が解けていく様子が見られた。

また、8月・9月の事前準備ワークでは、主体的関わりの醸成に加え、当日はひきこもり体験者がスタッフとして進行に携わることで、参加者へ「アートを通じた社会参加」の具体的なモデルを示す機会となった。



### HIKIKOMORI ART PROJECT (NPO法人みんなの居場所ウッドワン)

実施日

令和7年7月1日～令和8年3月31日

会場

みんなの居場所ウッドワン(中京区)

事業実績

ひきこもり状態にある方が、高齢者・障害者等と一緒に活動できる居場所として、絵画や工作などのアート活動を実施した。アートを通じて様々な展示会に出品することにより、参加者の活動意欲を高めることができた。

また、居場所に通所する中で、家族や関係者以外の方とも交流ができ、居場所の利用が週1回から週4回に増えるなど、ひきこもり状態にある方の社会参加の機会を増やすきっかけとなることができた。



## スタートアップ部門

### サリバンの会

(サリバン先生)

実施日

令和7年9月1日～令和8年3月24日  
計7回開催

会場

万治カフェ(東山区)

事業実績

ひきこもり支援の専門家や経験者(当事者・家族)、就労支援関係者や企業の経営者を招き、ひきこもりに関する正しい知識や具体的な関わり方を学び、孤立防止を目的とした対話型勉強会を開催した。

各回平均30名、全7回で延べ150名以上の方の参加があった。勉強会では、参加者同士の交流や、安心して思いを共有できる場づくりを行うことで、ひきこもりに対する理解が深まり、当事者や家族の心理的負担の軽減につながる効果があった。さらに、支援機関や地域の接点を持つきっかけとなり、必要な支援につながる導線を形成することで社会参加への第一歩を後押しすることができた。



### ひきこもり・生きづらさ応援プロジェクト

(京都コレカラ)

実施日

令和7年9月1日～令和8年3月31日  
計13回開催

会場

シオンの家(東山区)

事業実績

ひきこもりの当事者や生きづらさを抱えた方など、それぞれが自分のペースで人や地域と緩やかにつながれる場をつくることを大切に、次の行動につながる小さな関心や安心感を育むことができる機会を提供した。

内容としては、哲学カフェ、京まふへの参加、ゲーム大会やメイク講座など多岐にわたって開催し、参加者からは、「ひさしぶりに家から出た」という声をもらった。

また、「レトロゲーム大会」では、参加者が、本事業への参加回数を重ねるにつれ、大会の準備・進行の役割まで担っていただけになり、令和8年4月から就職が決まったとの報告もいただいた。

